

2004.9.2

## PI 外環沿線協議会議論の整理（とりまとめ）について

協議員（武蔵野市）村田あが

標記とりまとめの p.20 - 4 .まとめ について意見を述べさせていただきます。

## 1 .( 1 ) 必要性について

・ 10 行目 ...一定の議論ができた。

... 2 年間に及ぶ協議会での話し合いにより、一定の成果は上がった。

（協議会における議論を継続できたことの意義を認め、それも一つの成果であるともみなすべきではないかと思えます。）

・ 11 行目 ...現在、作業中であることなどから、住民が十分に納得できるだけの説明はなされなかった。

...現在、作業中であることなどから、現段階で示された資料による説明は、住民にとって必ずしも十分に納得のゆくものではなかった。しかし、今後、資料が整い次第公開され、住民を交えての議論の場に付されることを、行政、住民双方で確認した。

（現段階における評価と、今後も新たに提出、公開される資料について検討することが可能であることを明記するとよいかと思えます。）

## 2 .( 2 ) 2 ) 今後の進め方について

・ p.21 12 行目 ...希望する協議員（現・旧）と引き続き議論する場を設ける。

...諸問題について、新たに議論する場を設ける。この場合、希望する協議員（現・旧）の参加も認められる。

（新たなメンバーによる委員会の設置も考えられるので、現・旧協議員も希望すればそこに参加できる、とした方がよいかと思えます。）

・ p.21 13 行目 ...長い期間を要するが、国は、今後の...

...長い期間を要するが、国と東京都は、今後の...

（今後の PI は、より地域に密着した IC や換気施設、環境保全対策や地上部街路の問題について扱うことになると思いますので、沿線 7 区市はもとより、東京都との話し合いの場が確保されることは最も重要な点ではないかと思えます。）

・ p.22 2 行目 ...国と東京都は、練馬区の意向をくみ、

...国と東京都は、練馬区や住民の意向をくみ、

### 3 .( 3 ) 今後の課題

( 補足として、私見を述べます )

- ・ 今後の展開として、沿線7区市としての視点での PI 以外にも、広域な視点(首都圏、東京圏の交通問題、環境問題など)での PI 的な手法を用いた検討も加えられるべきかと思ひます。
- ・ PI においては、協議する内容の枠組みを明確にすること、協議の時間管理を徹底することがより効果的な運営方法の一つかと思ひます。
- ・ そのためにも、PI のプロセス管理を目的とした第三者機関による評価を定期的に受けながらの会議運営も検討されると、より効果が上がるかと思ひます。
  
- ・ 必要性の議論にしても、外環本線と地上部街路について分けて検討し、外環本線が大深度地下化することに対する評価、地上部街路のあり方に対する評価など、具体的な項目別に議論を進めた上で、総合的な評価について議論するなどのプロセスを踏むことにより、議論の成果は上がるかと思ひます。
  
- ・ 地上部街路については、現在都市計画決定されている内容について、分かりやすく説明されることが何よりも先ず必要かと思ひます。  
「現在協議中であるため、決定事項ではない」と断った上で、住宅地図や精度の高い模型、現況写真へのモニターなど、分かりやすい形での説明が必要です。  
その上で、都市計画の変更の可能性の様々なケースについて丁寧な説明をする必要があると思ひます。
  
- ・ 上記の説明がなされて、初めて住民は必要性の判断が下せるのではないかと思ひます。  
なお、上記の内容は地上部街路の議論のみならず、IC、換気施設の検討についても同様に検討されるべきことかと思ひます。